

授業科目名	教員政策と国際協力
科目番号	CB25211
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋AB金1,2
担当教員	川口 純
授業概要	本授業では教員を中心に据え、途上国の教育について学習します。社会の変化とともに学校教育に求められる教育成果や授業形態は大きく変化しています。その中で教員が如何に養成され、採用、配置されているか確認します。その上で学校や社会における教員の在り方を各国の「教師観」を中心に検討していきます。
備考	対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	本授業では国際的な視座から各国の教師観を検討し、国際教育協力の在り方についても検討していきます。授業を通じて、履修者は国際的な教育観を形成し、豊かな教育学的視座を得ることに寄与すると考えられます。
授業の到達目標（学修成果）	本授業を通じて、履修者は社会の変化とともに教師に求められる学校教育の在り方について検討します。その上で、学校や社会における教員の在り方を各国の「教師観」を中心に理解することが期待されます。
授業計画	<p>第1回 ガイダンス（授業の進め方、評価方法等）</p> <p>第2回 教員政策の理論と範囲</p> <p>第3回 途上国の教員供給</p> <p>第4回 途上国の公正な教員配置</p> <p>第5回 途上国の学び続ける教員</p> <p>第6回 カリキュラム改革と途上国の教員</p> <p>第7回 教員を取り巻くガバナンス改革</p> <p>第8回 アジアの事例①：カンボジアの教員政策と国際協力</p> <p>第9回 アジアの事例②：インドの教員政策と国際協力</p> <p>第10回 アジアの事例③：タイの教員政策と国際協力</p> <p>第11回 アフリカの事例①：マラウイの教員政策と国際協力</p> <p>第12回 アフリカの事例②：南アフリカの教員政策と国際協力</p> <p>第13回 アフリカの事例③：ザンビアの教員政策と国際協力</p> <p>第14回 中南米の事例①：ボリビアの教員政策と国際協力</p> <p>第15回 中南米の事例②：ホンジュラスの教員政策と国際協力</p> <p>第16回 国際機関の教員政策の事例①：ユニセフ</p> <p>第17回 国際機関の教員政策の事例②：UNESCO</p> <p>第18回 国際機関の教員政策の事例③：世界銀行</p> <p>第19回 JICAの教員政策と国際協力</p> <p>第20回 振り返り</p>
成績評価方法	授業への貢献度：30%、最終課題（レポート）：70%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	新聞やニュースなどで普段から教師に関する情報を継続的に収集するように心掛けて下さい。
教材・参考文献・配付資料等	1. 興津妙子・川口純編（2018）「教員政策と国際協力」、明石書店
オフィスアワー等（連）	水曜日：12：30～15：00

絡先含む)	金曜日：12：30～ ご連絡はメールでお願いします kawaguchi@human.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	学び続ける教師、カリキュラム改革、グローバルコンピテンシー、公正な教員配置、教員の需要と供給